

最強の人

清水さん

内容

最強の人	1
成績アップを目指すなら勉強は遊び感覚でも良い！？最強の学力向上マニュアル！	3
勉強は遊びじゃない！という人は読んでほしいこと	4
【小学生】夏休みにする勉強の計画の立て方成績が上がりやすい勉強方法	5
勉強する時間は決めていたほうが良い	6
中学生でテスト勉強のやり方が分からないという人は必読！効果的な対策とは？	7
テスト勉強はいつから始めるのが良い？	7
まとめ	9
著者：清水さん	10

『筆者：清水』は段ボール通販の[アースダンボール](#)を応援しています。

成績アップを目指すなら勉強は遊び感覚でも良い！？最強の学力向上マニュアル！

勉強をするのが楽しくないというのは、一般的に当たり前とされています。なので、中には何か悪いことをした場合に、勉強を罰としている家庭もあるのではないのでしょうか。

しかし、勉強というのは辛くて、我慢をしなければいけない物でありません。もし、親のあなたが「勉強は辛いもの」と、そう考えているなら今から考えを改めたほうが良いでしょう。また、今学生のあなたが「勉強は我慢をして行うもの」と考えているなら、本記事を読み進めていくことをおすすめします。本記事では、勉強を楽しく行うための方法について、お伝えをしていきます。

勉強は遊びじゃない！という人は読んでほしいこと

具体的に勉強をゲームとする場合勉強をゲーム感覚で行う場合の注意点

まとめ勉強は遊びじゃない！という人は読んでほしいこと筆者自身が学生のころは、「勉強は遊びじゃない」という風に、親から教えられてきました。今思えば、勉強は遊びじゃないと言っていた親自身も、勉強を辛く感じて、我慢してきたのではないかと思うのです。逆転の発想として、勉強をゲーム感覚で行うと、自然と勉強というのが楽しくなってきます。たとえば、ゲームではドラクエなどに登場する呪文や武器・防具など、覚えている人はかなり多いのではないのでしょうか。大人になっても、呪文の名前などは、スッと出てきますし呪文名を言われれば、どういう効果があるのかなども分かります。さらに、アニメでもファンタジー系の魔法使いの詠唱を、覚えている人も意外にいるのです。

それは、興味関心があるからであり、楽しく思っているからこそ、記憶に定着するのです。じゃあ、それを勉強に置き換えれば、大人になっても、しつこく覚えている可能性もありますよね。具体的に勉強をゲームとする場合 ゲームにもアニメにも、目的というものが存在しています。

勉強もゲーム化する場合は、目的を決めて、その目的を達成するために努力をする必要があるのです。なので、勉強をする前には、必ず目標を立てて置くことが大切です。ネットゲームでもクエストをクリアするためには、目標があり目標のために素材を集めたりして、クエスト攻略に努力するでしょう。勉強も同じように、目的を作り出して、目的に向かって作業をしていくのです。

勉強が苦痛だと思っている場合のほとんどが、目的も目標もないまま取り組んでいます。ゲームでも目的が無い場合や何をして良いのか分からないなら、すぐに飽きてしまうでしょう。達成感も得られない、駄作のゲームを延々にプレイすることは、苦痛の何物でもありません。勉強も同じように、小さな目標でも良いので、以下のような感じで立ててみるのが大切だと言えるでしょう。

目の前の問題を今日中にやり切る教科書や参考書の1ページを読んで理解する英単語を10個覚える…etc 勉強をゲーム感覚で行う場合の注意点勉強をゲーム感覚で行う場合は、他人

と比較してはいけません。

確かに、ゲームでは他人と比較して、成長し合うタイプがあります。たとえば、レースゲームやバトルロワイアルゲームなど、他人と勝負をして勝敗が決まるゲームです。他人と比較して成長していくタイプの人なら、競い合うことで良い結果を生み出すかもしれません。しかし、楽しくゲーム感覚で勉強をすることが目的なので、他人と比較することはなるべく避けたいところなのです。

他人と比較し始めると、どうしても自分よりも上がいきますから、終わりが無い競争が延々に続いてしまいます。そうなると、勉強の楽しさというのが無くなる可能性も、否定はできません。他人と比較して辛いとか、苦しいと思うなら他人と比較することは、やめたほうが良いでしょう。逆に、他人と比較して勝ち負けを楽しめるという場合は、競争相手を作り出してライバルをガンガン抜き去って行くのも良いかもしれません。

まとめ

本記事は、勉強が辛いと思っている学生や、勉強は遊びじゃないと思っている親御さんに向けたものです。勉強をゲーム化して、基礎から応用までを楽しく学んでいけるように、工夫をしていくことが成績アップにつながると考えられます。いずれにしても、勉強をするのに目標がないと、どうしてもやる気が起きないのが人間です。まずは、目標を立ててから、勉強に集中すると良いでしょう。

【小学生】夏休みにする勉強の計画の立て方成績が上がりやすい勉強方法

小学生の夏休みに勉強の計画を、どのように立てるかによって先の未来が左右されます。小学生が夏休みにする勉強の計画を上手く立てて、効率よく学習をしないと勉強のやる気がなくなってしまいます。何日に何をするかという計画の立て方の場合は、中々計画通りに進みません。どのように夏休みにする勉強の計画を立てるかを、お伝えしていきます。

夏休みは何をするかを決める勉強する時間は決めていたほうが良い夏休み限定！

家庭学習専用時間割まとめ夏休みは何をするかを決める夏休みの計画は「全体を把握して予定を決める」という感じで、計画を立てていきましょう。

書き込めるカレンダーを用意して、決まっている行事などを先に書き込んでおきます。塾がある場合は塾の予定も、書きこむようにすると良いでしょう。遊びを優先する日と、学校の宿題をする日などを決めてカレンダーに書き込んでいきます。

夏休みの学習時間は学年や受験の状況によって、違ってきます。1日に何時間勉強できそうなのか、子供と話し合ってみると良いでしょう。

低学年の場合は1日1時間～3時間程度、高学年の場合は1日2時間～4時間程度、学習時間を設けると良いでしょう。学習時間は続けて行うのではなく、午前中に2時間程度して、夕方から1時間ほど集中するという感じで、時間配分を考えると良いでしょう。

普段からあまり自宅で学習をする習慣が無い場合は、いきなり長時間勉強時間を作ったと

しても、集中は難しいです。なので、最初は 30 分くらいまで、勉強時間を作って置き、徐々に学習時間を増やしていくほうが良いでしょう。

勉強する時間は決めていたほうが良い

学習を習慣づけるためには、決まった時間帯から勉強を始めるようにしたほうが良いです。勉強する時間がいつもばらばらだと、習慣づけることがむつかしくなります。たとえば、午前 9 時から 10 時まで勉強をし、夕方 18 時くらいから勉強を開始するという感じを、毎日の習慣にするという方法だと習慣が身に付きやすいです。

無理のないように計画を立てることで、学習するという習慣が身に付きやすくなるでしょう。夏休み限定！家庭学習専用時間割学校の時間割と同じように、家庭学習の時間割も作ってみましょう。夏休みは長いと思われませんが、案外あっという間に終わってしまいます。子供と親の両方が、あれもこれもやろうとすると、結局消化不良で終わることが多いです。どうしてもやっておきたいことがあるなら、目標を各教科ずつ作ってみると良いでしょう。何かあったとしてもやり遂げようとするれば、全体の勉強がスムーズに進むのではないのでしょうか。学校の宿題は夏休み中に終わらせればよいと思っている子供は、結構多いかもしれません。

筆者が学生のころは、ギリギリまで夏休みの宿題をしなかったのですが、夏休みが終わる 1 週間前から焦って宿題を完了させました。しかし、夏休みの宿題というのは焦って行うものではなく、じっくりと学習をして実力をつけるためのものです。また、暗黙の締め切り日を守る意識を持つための、一つの練習と筆者は考えています。

筆者は WEB ライターを副業としていますが、納品日がしっかりとあるのです。納品日を守らないと、クライアントからの信用を失いますし、仕事もなくなります。社会に出ても、ノルマや締切日があるのです。

そう考えると、小学生の内から締切日を守らないといけないことを、しっかりと教える必要があるのではないのでしょうか。面倒な宿題を毎日 1 ページずつ終わらせることで、やらなければいけないことが早めに終わらせることができますね。

まとめ

1 日が終わったら勉強量を見直してみて、何を勉強したのかは計画表にチェックを入れていきましょう。計画に無理がある場合は、ほとんどやりきれなくて終わることが多いです。なので、1 週間終わった時点で、計画表をもう一度見直すようにしてくださいね。無理がある場合はドンドン作り直して、夏休みが終わるまでに優先的にやることを終わらせるようにしましょう。

中学生でテスト勉強のやり方が分からないという人は必読！効果的な対策とは？

テスト勉強のやり方が分からないという人は、意外に多いのではないのでしょうか。

筆者も、学生のころはテスト勉強のやり方が分からないので、適当に「出題されるだろう」という感じで勉強をしていました。

中学生になり初めての定期テストや中間テストなど、不安も大きいかもしれません。本記事ではテストで良い点数を取り、成績が上がりやすくなる勉強方法をお伝えしていきます。

テスト勉強はいつから始めるのが良い？

まずはスケジュールを立てることから 1 日にどれくらいの時間を勉強にかけられるかを考えよう

部活が休み又は土日は 2 時間は勉強をしたほうが良い徹夜や夜更かしは是ったにしないほうが良い！テスト範囲を知らないと結果は出ない！定期テストは決まった範囲しか出題されない！

勉強ができる奴ほど質問上手まとめテスト勉強はいつから始めるのが良い？まずはスケジュールを立てることからテスト勉強を開始する前に、準備というものがが必要です。せっちな人は、いきなり勉強を始めるのですが、しっかりとスケジュールを立てないと、良い結果が出にくくなります。

テスト勉強は基本的に、テストが開始される 2 週間前から始めると良いでしょう。テスト勉強を開始する場合は、計画的にテスト勉強をしないと、忙しすぎて勉強も部活も両立することができなくなります。普通は大事なテスト前になると、部活動は停止されるものなのですが、それでも部活動を行っている部活はかなり多いです。

テスト前もテスト期間中でも、部活をするというケースも考えられます。ただ、学習面において部活をしながらテスト勉強をしても、全く影響がないというなら部活動を続けても問題はないでしょう。さらに、レギュラーではないなら、部活よりもテスト勉強に力を入れるほうが良いと思われます。筆者の経験ですが、中 1 で見切りをつけないと中 2、中 3 となり部内では主力メンバーになってしまうと、抜けるのがむづかしくなります。そうなる前に、決断をしないとイケません。

1 日にどれくらいの時間を勉強にかけられるかを考えよう中学生になると毎日部活で忙しくて、勉強をする時間がないと悩む人もいるかもしれません。部活をしていて時間が取れない場合は、どれくらいの時間なら勉強できるかを考える必要があります。どうしても部活を抜けられないという場合は、朝早く起きて勉強をするか寝る前に、勉強をするかのどちらかです。

ただ、学校から帰宅して 3 時間勉強をするというような意気込みすぎは、逆に勉強に集中できません。なので、30 分程度の短い時間で良いので、勉強時間を確保するようにしましょう。もちろんですが、勉強をする時間は、夜じゃなくても良いですよ。朝に強いという場合は、朝早く起きて学校に行く時間まで、勉強をするという方法をして良いかもしれません

ん。基本的に、無理をしないように、勉強時間を確保すると良いでしょう。

部活が休み又は土日は2時間は勉強をしたほうが良い部活が休みに入った場合は、平日は2～3時間は勉強をしたほうが良いでしょう。また、土日は8時間くらいを目安に、勉強時間を確保しておきましょう。学校が休みの土日は、ついついダラダラと過ごしてしまいがちですが、テスト前にまとまった時間を確保できるのは、土日くらいなのです。

なので、土日とを有効に活用することで、出来るだけ多く勉強をすることをおすすめします。徹夜や夜更かしは是ったにしないほうが良い！部活やテスト勉強でおろそかにしてしまいがちなのは、睡眠です。筆者の経験ではないですが、昔に部活とテスト勉強を両立していた人がいました。

部活が終わり帰宅してから、夜遅くまでテスト勉強をしていたそうです。自慢気に、その親が近所中に話をしていて、今になって思い出しました。ですが、徹夜や夜更かしをしてまでテスト勉強をすることは、健康に悪いですしテストのときに、最高の状態でドライできません。なので、テスト勉強は徹夜や夜更かしをしない程度で、頑張るしかありません。もし、無理そうなら部活は辞めて、テスト勉強だけに集中したほうが良いでしょう。テスト勉強と部活の両立を無理して行うのは、決して良いことではありません。

むしろ、テスト勉強が大切なら、テスト勉強に集中したほうが良い結果を生みやすいと言えるでしょう。テスト範囲を知らないと結果は出ない！テストで良い点を取る人は、テスト範囲を知っているからこそ良い点を取れるのです。中には、実力で良い点数を取って、トップの成績を収める人もいますが、そういう人は根っからの頭が良い人なのです。一般的には、テスト範囲を知ってから、テストが出る範囲だけを勉強します。

筆者は、そのことを理解していなかったので、テスト範囲とは違うところまで勉強をしていたのです。しかし、テスト範囲を知れば良い点数が取れることを知り、猛勉強をして成績アップを果たしたことがあります。テスト範囲を知らない場合は、どんなに頭が良くてもあまり良い点数は取れなくて当然です。筆者が学生のころに良い点数が取れなかった頃は、「とにかく教科書を読んで、勉強をすれば良い」と考えていました。

結果的に、ブログや人には言えないほど、悪い点数を取ってしまったのです。テストの点数を暴露すると、これ以上落ちようがないとだけ言っておきましょう(バレバレ) そんな筆者も、授業中に先生が熱心に話しているところや、「ここはテストに出るぞ」と言ったところは、しっかりとチェックを入れておいたのです。

そして、テスト勉強はテスト範囲だけを勉強し、無駄を削ぎ落す感じで学習をしていきました。定期テストは決まった範囲しか出題されない！実は、定期テストは決まった範囲しか、出題されないのです。なので、最初にテスト範囲を知っておくことで、良い点数を取れる可能性が高くなります。

ただ、テスト範囲は授業をしっかりと聞いていれば、出題される範囲は分かるのです。ポーっと授業を受けているだけの場合は、どうしてもテスト範囲を聞き逃してしまうでしょう。どうしてもテスト範囲が分からなければ、先生に直接聞いてみると良いかもしれません。昔

なら、「何を聞いていたんだよ！」と、ゲンコツとセットで怒られたものですが、現在は暴力を生徒に与えると罰せられるので、普通に質問すれば普通に教えてくれるでしょう。勉強ができる奴ほど質問上手結論を言えば、勉強ができる人ほど質問がとても上手です。質問が上手な人は、社会に出てもスルスルと出世していきます。

たとえば、勉強で分からないことがあれば、担当の先生に質問をして、自分なりに学習をし理解を深めていくのです。分からないことを放置しておくことで、テスト範囲が分からない部分だったら、テストで良い点は取れないでしょう。とはいえ、先生に出題範囲を聞いても、具体的に「この問題が出るよ」とは答えてくれません。

質問をすれば、それなりに答えてはくれるでしょうね。筆者の経験では勉強ができる人ほど、先生と仲良しだったりしていた記憶があります。

まとめ

中学生でテスト勉強のやり方が分からない場合の多くは、出題される範囲が分かっていないことが多いです。さらに、テストで悪い点数を取る場合も、テスト範囲を理解していないことが多いのではないのでしょうか。テストというのは、学習をしたことを本当に理解できているかの確認です。ただ、出題範囲は定期テストでも、決まった範囲しか出題されないので、テスト勉強のコツを知れば面白いほど、良い点数が取れるようになるのです。悪い点数しか取れないのは、テスト範囲を知らないか、勉強のやり方が間違っている可能性があります。もし、テスト範囲を理解していて、テスト範囲を勉強してもテストで良い点が取れないなら、現在のやり方を見直す必要があるでしょう。

著者：清水さん

好き嫌いの激しい性格ですが、実は温厚。仕事柄いろんな人と関わることがあるので人間観察が一番の趣味。将来の夢は田舎でスローライフを送ること！！